

平成29年

雲南市議会6月定例会 一般質問通告一覧表

【一般質問日程 平成29年6月12日～14日】

平成 29 年雲南市議会 6 月定例会 一般質問通告一覧表 目次

順番	日程	議席番号／氏名	質問方式	ページ	順番	日程	議員番号／氏名	質問方式	ページ
1	6/12(月) 9時30分～	18 / 堀江 治之	一問一答	1～2	11	6/14(水) 9時30分～	4 / 中村 辰眞	一問一答	19～22
2		8 / 細木 照子	一括	2～3	12		14 / 安井 誉	一括	22～23
3	6/12(月) 13時00分～	6 / 矢壁 正弘	一問一答	3～6	13	6/14(水) 13時00分～	10 / 周藤 正志	一問一答	23～24
4		9 / 佐藤 隆司	一問一答	6～8	14		/		～
5		2 / 中林 孝	一問一答	8～11	15		/		～
6	6/13(火) 9時30分～	5 / 原 祐二	一問一答	11～12					
7		11 / 藤原 政文	一問一答	12～13					
8	6/13(火) 13時00分～	3 / 松林 孝之	一問一答	14～16					
9		1 / 上代 和美	一問一答	16～18					
10		15 / 細田 実	一問一答	18～19					

平成 29 年雲南市議会 6 月定例会 一般質問通告一覧表

平成 29 年 6 月 9 日

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
1	18	堀 江 治 之 (一問一答)	1. 地方公会計制度 について 2. ふるさと納税に ついて 3. 成人健診につい て 4. 市道の道路施設 整備事業について	(1)平成 29 年度部局運営方針では平成 28 年度決算に基づき、平成 29 年度末までに「統一的な基準」による財務書類を作成するとされている。進捗状況と公表の時期について伺う。 (2)固定資産台帳作成に当たり、資産計上額の基本的な考え方について伺う。 (3)立竹木取得後の再評価の考え方について伺う。 (4)資産取得原価が不明な場合の資産計上の考え方について伺う。 (5)固定資産台帳情報の更新に対する担当職員体制の考えについて伺う。 (1)ふるさと納税の返礼品について総務省から通知が出されている。市としての対応方針について伺う。 (2)これまでの取り組み方針を変更するとすれば、その対応方針について伺う。 (1)特定健康診査をはじめとする市の成人健診の受診状況について伺う。 (2)節目年齢のがん検診・歯周病検診・肝炎ウイルス検査の受診状況について伺う。 (3)節目年齢対象の高齢者肺炎球菌予防接種制度について制度内容を知らない人が多くおられる。有効な周知対策はないのか伺う。 (1)平成 29 年度の新規事業として、道路施設整備事業を実施することとなっているが、その具体的な事業内容について伺う。 (2)区画線修繕も事業内容とされているようだが、市道のセンター	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			5. 健康づくり拠点 整備事業について	<p>ライン・横断歩道・右折路線区分帯表示等々消えている路線も多くある。交通安全の観点からも全路線の総点検を実施し、修繕をする考えはないのか伺う。</p> <p>(1) 来年5月末完成を目指すとしてされている健康づくり拠点施設の利活用の方針・考えをもっと早く決定すべきと考えるが市長の見解を伺う。</p>	
2	8	細 木 照 子 (一 括)	<p>1. 介護職場の専門 職員不足について</p> <p>2. 市民バスの運行 について</p> <p>3. 山林の保護につ いて</p> <p>4. 認知症と災害に</p>	<p>(1) 介護職場の第一線で働く「介護福祉士」は、定数確保が厳しいと聞く。資格試験要件が厳しくなった事もあり、受験者そのものが4割減だといわれている。</p> <p>私は、社協理事をさせていただいた経験から、『介護』そのものが、仕事の中では最も難しいものであると見ている。この介護の真の理解なく、職員の処遇改善などできず、定数確保は困難である。介護職員不足の原因をどのように理解されているか伺う。</p> <p>(1) 3月議会でも関連質問をしたが、平成29年度版の市民バス時刻表が改善されて配布された。しかし、地域と協議工夫の上、運行時刻などが決められているか。また、JR駅に立ち寄るようにして「木次線」との共存も配慮すべきだと考えるが、見解を伺う。</p> <p>(1) 以前にも増してキツネ・タヌキからイノシシ・サル、そしてクマが出没するようになった。しかし、正しい表現をすれば「人間が放棄した地域を動物が使うようになった」のかも知れない。農地は「中山間地域等直接支払制度」の導入で生き延びている。山林についてもこの様な制度の導入が出来ないものか。国へ対して強力で働き掛ける事は出来ないか伺う。</p> <p>(1) 4月に開催された認知症国際会議において「認知症と災害」がテー</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			<p>ついて</p> <p>5. 小中学校教員の勤務状況について</p> <p>6. アレルギー対策について</p> <p>7. 夜光反射材の着用について</p>	<p>マになっていた。8年後の日本では認知症の人が700万人、高齢者の5人に1人になると言われている。特に災害時の避難所などでの対応は大変に困難だと言われている。市では、災害時の避難所などにおける認知症の人への対応は配慮されているのか。</p> <p>(1)全国的に過労死ラインを超える残業が行われている。市では小中学校教員の勤務状況を適正に把握、管理されているようだが、その後の状況について伺う。</p> <p>(1)3年前に実施された東京都の3歳児全都調査では、「3歳までに何らかのアレルギー疾患と診断された子どもは4割に上っている」といわれる。市での対策を伺う。</p> <p>(1)夕方以降の歩行者を見ると、夜光反射材着用者は稀だ。もっと具体的に指導する必要があると思うが、見解を伺う。</p>	
3	6	矢 壁 正 弘 (一問一答)	1. 身近な危機管理について	<p>(1)火災時の対応について伺う。</p> <p>①市内（大東町）において連続して建物火災が発生した。3月31日の火災では緊急のサイレンが鳴らず、また、緊急告知放送の音声も聞こえにくく、住民の皆様は不安を募らせているが見解を伺う。</p> <p>②市内各町の緊急サイレン、緊急告知放送施設の点検整備は行なわれたのか。防災無線事業が中断している中、唯一の緊急連絡システムと思われるが見解を伺う。</p> <p>③5月4日の火災では、消防署からの緊急告知に続いて実施される町内への緊急放送が遅れ、消防団の初動体制にも影響を及ぼしたが見解を伺う。</p> <p>(2)消防水利について伺う。</p> <p>①2件の火災とも、消火に必要な水利が不足気味であったとの声を</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			2. 配食サービスと見守りについて	<p>聞いた。市内全域にある消火栓は適正な場所に適正な数が設置されているのか伺う。</p> <p>②消火栓の設置が不可能な地域には地元要望により地下埋設型の防火水槽を年2～3基設置しているが、年間設置数を増やす考えはないか伺う。</p> <p>③現在、要望により防火水槽を設置しているが、地域による偏りがないか検討し、本市全域にバランスよく配備する必要があると思われるが見解を伺う。</p> <p>④防火水槽の二次製品を搬入設置出来る場所の条件に適合しなくても、設置できる対策は取れないか見解を伺う。</p> <p>⑤本市の在来型の防火水槽は溜め込み式であり、危険な箇所が見受けられる。漏水等発生している水槽もあると聞くが、全箇所を再点検し安全管理の徹底を図る必要があると思われるが見解を伺う。</p> <p>⑥大規模災害に対しての危機管理の対応は検討されてきたが、常時身近で発生する災害に対しての備えが希薄になってきたように思えるが市長の見解を伺う。</p> <p>(1)配食サービスと見守りについて伺う。</p> <p>①市内で10の自主組織が配食サービスを行ないながら見守りを行っている。今年2月に食事の代金が1.5倍になるとの通知があり対応に追われた。昨年12月には値上がりが見込まれていたと聞くが、説明が遅れた原因は何処にあるのか見解を伺う。</p> <p>②大東町阿用地区でも実施しているが、配食サービスを受けていた方が取り止められた。他の9自主組織での影響は把握されているのか伺う。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			<p>3. 国道 54 号線サイクリングロード整備について</p> <p>4. 健康マイレージ制度について</p>	<p>③見守りについても影響が出てくると思われるが見解を伺う。</p> <p>④今後、見守りについては地域包括ケア内で実施していくとのことだが、実際にどのような施策を実施していくのか計画があれば伺う。</p> <p>⑤配食サービスと見守りは、理にかなった大変良い施策であり今後も利用者は増加すると思われる。本市として一層の支援が必要と思うが市長の見解を伺う。</p> <p>(1)サイクリングロード整備について伺う。</p> <p>①中四国 4 県を結ぶ広域サイクルルートが設定された。本市は平成 27 年度より国道 54 号線沿線のサイクリングロードの整備を行っているが、受け入れ態勢は十分に出来ているのか伺う。</p> <p>②国道 54 号線沿い、また本市全体の活性化のためにも市内の名所旧跡を網羅した本市ならではのロードマップ等作成し、受け入れ態勢を取るべきと思うが見解を伺う。</p> <p>③本市は島根ルートの中間にあるので、道の駅等を利用し、休憩はもとより自転車の整備・修理が出来る施設を設置できないか見解を伺う。</p> <p>(1)健康マイレージ事業について伺う。</p> <p>①各市町村が、あらかじめ指定する健康づくりに関する取り組みに住民が参加した場合にポイントを付与し、一定のポイントに達した住民に特典を与える取り組み（健康マイレージポイント制度）が全国的に広がっている。本市として取り組む考えはないか伺う。</p> <p>②平成 30 年 3 月竣工予定の、健康づくり拠点施設加茂 B&G の利用にもポイント制度を導入すれば利用者の増加につながると思われる</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				が見解を伺う。	
4	9	佐藤隆司 (一問一答)	1. 市の入札制度について 2. 広聴機会の充実について	<p>(1)一般競争入札制度の今後の対応について</p> <p>①平成27年から、一般競争入札の予定価格が事前公表から事後公表に大きく変更された。それ以後、事後公表の一般競争入札方式を2カ年間実施されているが、事後公表の入札制度のメリット効果はあったのか。</p> <p>②デメリットと言われる入札の不落・不調の物件は発生しているのか。</p> <p>③職員に対する予定価格を探る行為などの不正行為につながった、奥出雲町の不祥事を検証し、職員への注意喚起はされたのか。</p> <p>④予定価格の事前公表は、職員が不正行為に巻き込まれないようにするためや事務業務の軽減、発注者と応札者のストレスが生じないなど大きなメリットがある。予定価格の事前公表に向けて検討し見直すことが必要と考えるが見解を伺う。</p> <p>(1)市民意見や提案の積極的な受け入れについて</p> <p>市民のみなさんの声を聞くことは市長も去年の4期目に臨むうえでその重要性を言われた。広聴活動は、市政運営の基本であり、多くの自治体が様々な方法で、市民のみなさまの希望や思い、ニーズを把握する仕組みによってまちづくりがされている。</p> <p>①市政懇談会の参加者が年々減少している。市民に直結する重要な事業や関心度の高い事業をテーマに掲げることにより、市政への関心度を高める必要がある。今年はどうのように改善された取り組みで行われるのか伺う。</p> <p>②市民のみなさんの声を聴く手段の一つである、まちづくり懇談会</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			3. 指定管理者制度 について	<p>の実績と成果を伺う。</p> <p>③市民のみなさんの声を幅広く聞くためには多種多様な手段が必要であり、新たなシステムも検討することが必要と考えるが見解を伺う。</p> <p>④リクエストボックスの設置を提案する。意見箱やリクエストボックスの必要性は、そのリクエストの数量が問題ではなく、市民目線の声を聴く広聴の手段を設けることや施策反映に活かす行政の姿勢が求められることからすると大変重要な取り組みだと考える。行政側の一方通行の情報発信だけではなく、市民の声を聴きながらまちづくりを進める協働のまちづくりを拡充するため、市民のみなさんの声を受け入れる積極的かつ柔軟な対応をされることが必要と考える。今後の対応について見解を伺う。</p> <p>(1)指定管理者制度を活かすメリット・デメリットについて</p> <p>①指定管理者制度のメリット・デメリットをどのように検証されているのか。</p> <p>②本市の公募・非公募の考え方を伺う。</p> <p>③競争原理により管理コストの軽減を図り行政経費の削減につなげるためには、積極的な民間活力の導入を考える必要がある。現状の分析と今後の対応について伺う。</p> <p>④「市民への説明責任を果たしながら、公平かつ簡素で効率的な行政システムの構築、最小の経費で最大の効果が上がる財政運営の推進に努められたい」と決算監査の意見書で述べられているが、指定管理先が一部に集中していることによる競争性が発揮されていない状況について見解を伺う。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				<p>(2)国民宿舎清嵐荘改築整備事業について</p> <p>①公設民営施設として指定管理されるが、公募か非公募の考え方を伺う。</p> <p>②管理運営基本計画策定に係る公募型プロポーザルにより鋭意検討されているが、どのようなメリットが期待されているのか。</p> <p>(3)健康づくり拠点整備事業について</p> <p>①基本計画が完成していない状況で、建設工事が発注されていることは正常な業務執行だとは言い難い。ここに至った理由を伺う。</p> <p>②未完成の基本計画のまま、なぜこの時点で業務委託をされるのか。</p> <p>③基本計画の追加策定業務であり、指定管理料に直結する管理運営形態を検討する業務委託は、専門性と実績を要する事業者による提案やコンサルティングのできるプロポーザル方式でされることが望ましいと考える。見解を伺う。</p> <p>④公設民営施設として指定管理されるが、公募か非公募の考え方を伺う。</p> <p>⑤財政運営上、最小の経費で最大の効果を上げることが求められることからランニングコストの縮減が最大の課題だ。近隣類似施設(公設・民間)のランニングコストと比較検討をされた経緯とデータと合わせ事例を伺う。</p>	
5	2	中 林 孝 (一問一答)	1. 危機管理について	<p>(1)悲劇や事故は往々にして想定外で起こるもの。日常生活における危機管理対策について、横断的に確認しておきたい。</p> <p>①来春、市立病院の新館がオープンする。ハード面の整備に加え危機管理対策も必要である。病院におけるBCPの策定状況について伺う。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			2. 林業の育成策について	<p>②最近、北朝鮮のミサイル発射が相次いでいる。狙って発射されることも危険だが、誤って落下する危険性もある。市民に情報を伝達する手段について伺う。</p> <p>③53年前、加茂町は未曾有の大水害にあった。これから本格的な梅雨時期を迎え、特に梅雨末期にはゲリラ的豪雨に襲われることがある。危険個所の点検状況と災害発生時の初動体制、避難経路の周知徹底や避難勧告、マニュアル整備の状況について伺う。</p> <p>④本市は山林に囲まれ、熊や猪などの鳥獣被害が多い。有害鳥獣の駆除は欠かせないが、タケノコや山菜、笹、キノコ等の採取などで入山した際に、誤射や暴発によって事故に巻き込まれる危険性がある。事故の防止対策を伺う。</p> <p>⑤市道の多くは山林に隣接している。中には枯れて倒れる直前の樹木もあり、倒木が通行人や通行車両を直撃する危険のある箇所がある。民有地の場合は、その所有者が管理するのが基本になるのか伺う。</p> <p>⑥所有者と連絡が取れない、連絡が取れても撤去費用が高額で対策が取れない場合も多いと聞く。所有者と連絡が取れない場合の対策について伺う。</p> <p>⑦事故を未然に防止するため倒木の恐れのある樹木の伐採費用を補助する制度の創設を提案する。この制度を検討する考えはあるか伺う。</p> <p>(1)本市の面積の8割は山林であり、この広大な面積を生かさない手はない。林業は市の産業の核となる可能性を秘めているが、一方では多くの課題も抱えている。市の林業の現状、および今後の対応策につ</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				<p>いて伺う。</p> <p>①スギ、ヒノキ、松など森林資源の蓄積量の推移や樹齢分布（樹種別・ 齢級別蓄積量または森林面積）の状況、課題、対応策について伺う。</p> <p>②木材生産量の推移（過去）と（今後の）目標を伺う。</p> <p>③森林整備計画の進捗状況、今後の対応方針について伺う。</p> <p>④林業従事者（総務省国勢調査ベース）の推移、および林業所得（国 税庁民間給与実態調査ベース）の現状と課題について伺う。</p> <p>⑤本市における「緑の雇用」の実績はどの程度か。この制度は林業従 事者の高齢化対応策として市にとって有用なものとなっているか。 または別の対策が必要なのか伺う。</p> <p>(2)生産体制の強化や生産性の向上を図り、林業の活性化、および産 業として育成していかなければならないと考える。課題と対応策に ついて伺う。</p> <p>①効率的な路網の整備が不可欠だ。市内の林道、林業専用道路、森林 作業道の整備状況（例えばm/ha）と目標に対する進捗状況や課題、 対応策、整備手法について伺う。</p> <p>②ストックヤードを始め、加工施設などの拠点整備が必要だ。スタッ クヤードの現状は小規模であり、十分ではないと考える。今後の整備 計画について伺う。</p> <p>③生産性向上のためには機械化に併せて技術者の育成にも力を入れ ていく必要がある。市内の高性能林業機械の導入状況、および今後の 計画について伺う。</p> <p>④森林資源を把握して対策を立てるために「森林簿」の整備と活用が 望まれる。現状と課題、活用方針について伺う。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				<p>⑤木材利用促進事業の成果、および今後の進め方について伺う。</p> <p>⑥本市では子ども園や交流センター、記念館など公共建造物の建設・建築が相次いで計画されている。今後の市産材の利用予定について伺う。</p> <p>(3) 林業を活性化するためには他機関との連携や新形態の手法も取り入れる必要がある。</p> <p>①森林組合との連携が必要だ。現状での課題、今後の対応方針について伺う。</p> <p>②自伐型林業への取組状況について伺う。</p> <p>③全国各地の先進事例を調査・研究する必要があると考えるが見解を伺う。</p>	
6	5	原 祐 二 (一問一答)	1. 働き方改革について	<p>(1) 働き方改革実行計画への基本姿勢について</p> <p>①本市における働き方改革が必要になった背景(労働人口・長時間労働・少子高齢化・労働生産性)をどう捉えているのか問う。</p> <p>②働き方改革への地方自治体が果たすべき役割について問う。</p> <p>③市職員(市役所・市立病院)における、働き方改革をどのように考えているのか。</p> <p>(2) 同一労働同一賃金など非正規雇用の処遇改善について</p> <p>①本市(市役所・市立病院・民間)における、正規雇用及び非正規雇用の状況について問う。</p> <p>②市役所・市立病院における、非正規雇用への処遇改善策としての実績と今後の取組について問う。</p> <p>③地域自主組織や指定管理者への処遇改善についての取り組みを問う。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				<p>(3)長時間労働の是正について</p> <p>①市役所・市立病院における、働き方改革実行計画での時間外労働の上限規制を超える長時間労働の実態について問う。</p> <p>②市役所・市立病院における、長時間労働の是正を図るための実績と今後の取組について問う。</p> <p>③勤務時間インターバル制度の導入についての所見を問う。</p> <p>④残業を縮減するための手段として、ペーパーレス化を研究・試行してみてはどうか。</p> <p>(4)柔軟な働き方がしやすい環境整備について</p> <p>①市役所・市立病院における柔軟な働き方がしやすい環境整備の状況について問う。</p> <p>②テレワークの導入について所見を問う。</p> <p>(5)教育環境の整備について</p> <p>①本市における返還不要、給付型の奨学金制度の状況について問う。</p> <p>②本市独自の奨学金返済支援制度の創設について検討状況を問う。</p>	
7	11	藤原政文 (一問一答)	1. 相談業務について 2. 基金について	<p>(1)5月14日、加茂で開催した議会報告会で水田耕作の受委託をはじめ「農業問題をどこに相談をするのかわからない。」という主旨の意見が出た。農業問題をはじめ、納税、健康福祉、人権などそれぞれ相談窓口はあるが、それが十分に伝わっていない実態がある。あらゆる機会を捉えて、「ひとりで悩まず、相談をしてください」ということを言い続けるべきと考えるが所見を伺う。</p> <p>(1)永井隆博士顕彰基金、木次さくらのまちづくり基金はそれぞれの目的に沿って事業に使われているが、残高が減少する状況にある。今後も必要な事業で、後世に引き継がなければならない。そのためにも</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			<p>3. 特別天然記念物コウノトリについて</p> <p>4. 農業について</p>	<p>少しでも財源を確保するために、永井隆物語、桜並木物語、桜守物語、加茂の桜物語、河津桜物語、笹部桜物語など事実に基づく書物や絵本などの作成・販売、桜まつり期間中の駐車場料金徴収などにより収入を得ることが必要だと考える。所見を伺う。</p> <p>コウノトリの一連の出来事に対し、大きな反響があった。市民の方から議員として何もしていないとの批判もいただいております、今後に向けて更なる啓発が必要と考える。</p> <p>(1)今回発生した想定外の事故についての所見を伺う。</p> <p>(2)教育民生常任委員会等では、サギの猟銃による駆除は自粛との説明だったが、一方で「雲南市は中止した」との告知放送があった。「中止」か「自粛」のどちらか。</p> <p>(3)今後のヒナ等の取り扱いの考えを伺う。</p> <p>(4)再発防止策としてのパンフレット等による更なる啓発が必要と考えるが所見を伺う。</p> <p>来年から生産調整がなくなり、ますます農業を取り巻く環境が厳しくなるとことが予想される。</p> <p>(1)スパイスプロジェクト事業者の中には、栽培地、栽培者を求められているが、そのような場合の斡旋や仲介、相談機能が上手く働いているか。</p> <p>(2)農道、農作業道整備を求める声が多くある。土地改良事業等があるが、計画的な整備が進んでいるか。</p> <p>(3)農業法人や集落営農組合、認定農業者等は、補助金を受けることができる。一定規模以上経営する農業者も補助金対象とすることができないか。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
8	3	松 林 孝 之 (一問一答)	1. 中心市街地活性化事業について	<p>本市の経済と人のダム効果を図るための最大事業である「雲南市中心市街地活性化事業」が、昨年 11 月に内閣府の認定を受けた。5 年間で展開される推進体制と具体事業、ビジョンを質す。</p> <p>(1) 推進体制とスケジュールについて</p> <p>① 中心市街地活性化事業の推進において、中活協、商工会、まちづくり会社、元気百貨店出店者、市 それぞれが担う役割は何か。</p> <p>② 各セクションの連携により事業は前に進むことは言うまでもない。ただ、現在の推進体制では、誰が先頭でどこが中心なのか解りづらく、責任のあり方も曖昧である。行政組織内に中心市街地活性化推進室を設置し、統括的なプロジェクトチームを形成し、出店者はもちろん市民にも理解される体制で臨むべきだ。市の考えを伺う。</p> <p>③ 江津市の中心市街地活性化事業は短期的事業と中長期的事業に分類され、中でも江津駅前再開発は最初に行政が都市機能として公共福利施設と公園・駐車場が短期開発に位置づけ、その後に民間出店や賑わいの創出事業を中期事業と定めている。具体的なハード整備の内容とスケジュールを明確にすべきでは。</p> <p>(2) 三刀屋原商業集積エリアについて</p> <p>① 中活事業の柱の一つは経済のダム効果であり、さくらマルシェはその 1 事業だ。当初の出店説明会では 20 を超える事業者が参加していたが、著しく減少した。このままではダム効果が発揮できない。現在の参画状況と、減少の要因がどこにあると捉えているのか。</p> <p>② 当エリアの社会資本整備事業で道路と公園、駐車場が計画されているが、駐車場については木次駅前再開発のマルシェリーズ開店経緯と同様の根拠で開発すべきでは。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				<p>③ホテルは誘致企業として取り組むとされた。出店者や周辺事業者にとって実現の可否は大変重要なポイントとなるが、ホテル誘致の確約が出店者の動向を左右するといっても過言ではない。現在の状況はどうなっているのか。</p> <p>④ホテル業界では、インバウンドを取り込むことが最重要と言われ必要不可欠なものとなっている。市内には観光資源が溢れているにも関わらず滞在時間が短くなっている。誘致ホテルと観光協会、市当局が連携してインバウンドのシナリオ創りを着手してはどうか。</p> <p>⑤周南市ではテナントミックス事業という、中心市街地エリアに限定して出店者のイニシャルコストの一部助成を行っている。最大 100 万円、物販なら 200 万円の補助として、店舗獲得を図っている。店舗の集積は集客と直結する。特区的な位置づけの支援が必要では。</p> <p>⑥出店者にとって更なる課題は人手不足だ。この度のSWS西日本の閉鎖に伴い、多くの人材を中活事業の様々な分野に生かすことはできないか。</p> <p>(3)人のダム効果について</p> <p>①中活事業のもう一つのテーマは人のダム効果だ。市全域の中心市街地であるから、周辺部や他地域から人が集まってこそその中心市街地事業であり、全市民のための中活である。いかに市全域を結び繋げるかが本市の中活事業と考える。リンク付けの具体策を問う。</p> <p>②人の市外流出を中活事業で全て好転させることはできないが、少しずつ取り戻すことは可能である。紛れもなく全市民のための事業であることの周知と理解が求められる。もっと事業PRに力を入れることが必要では。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				②「不退転の決意」で臨むとされた事業だ。改めて市長の決意を問う。	
9	1	上 代 和 美 (一問一答)	1. 市長・教育長の政治姿勢について 2. 「核兵器のない世界」の実現を目指す取り組みについて 3. 農業問題について	(1)特定秘密保護法・安保法制・共謀罪、そして5月3日には期限を決めての改憲発言と安倍政権による「戦争する国づくり」が強権的に進められている。教育では「教育勅語」礼賛の学校支援、「教育勅語」の学校での使用容認など戦後の原点に逆行するような動きが強まるもとでの市長・教育長の政治姿勢をうかがう。 (1)「核兵器のない世界」の実現という人類にとって死活的な緊急課題をめぐる画期的な動きがあらわれている。2016年12月23日、国連総会は核兵器禁止条約の締結交渉を開始する決議を圧倒的多数で採決し、7月7日までには条約を採決するという世界の流れが起りつつある。平和首長会議に加盟されている市長として、この世界の動きについての見解を伺う。 (2)平和首長会議行動計画では、「平和首長会議が果たすべき役割の一つは、核兵器廃絶に向けて各国政府に具体的な対応を促す市民の声をさらに大きくし、核兵器廃絶の国際世論を拡大することである」といっている。日本政府が条約を採決するためにも、世論の形成が不可欠である。具体的な取り組みとして「ヒバクシャ国際署名」を、市長を先頭に市全体の取り組みにしていく考えはないか。 (1)政府は、農業の競争力を図るとして、担い手への農地集積・集約化による構造改革を進めている。本市のような中山間地では家族経営から法人まで含めたすべての農家を農業の担い手として位置づけて農業振興を図るべきと考える。国連は家族農業こそが世界の農業の主流であることを宣言している。小規模農家が意欲を持って耕作	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			4. 市道の草刈（道路愛護）が困難な自治会への支援について	<p>を続けられるように、市単土地改良事業の予算枠の拡充や補助率の引き上げ、農機具更新への補助をする考えはないのか。</p> <p>(2)2018年度からの政府による米需給政策の放棄と米の直接支払い交付金の廃止問題は、稲作農家の不安をますます大きくしている。交付金の廃止は農家の経営にも影響を及ぼすことになる。市として存続をもとめるべきではないか。</p> <p>(3)山間部ではイノシシなどの被害に抗しながら懸命な農作業が行われている。先般田井地区での議会報告会で「鳥獣対策の中にトタン（ガルバリウム鋼板）に対する補助をしてもらえないか」という声があった。トタンの効果もあると聞く。鳥獣対策として、ほかの対策と同等の効果があれば補助対象にすべきではないのか。</p> <p>(4)農業振興には地産地消に力を入れていく必要がある。中でも学校給食の地元食材使用は、子どもたちに安心安全な地元産食材を出来るだけ多く食べてもらおうという点で、市として力を入れていただきたい。現状ではそれぞれの給食センターで使用率のばらつきがあるが、これは何に起因するものと分析されているのか、伺う。</p> <p>(5)統合された給食センターになると、扱う食数も増え、地元食材使用が困難になるのではないかと。教育委員会として、学校給食のあり方、特に地元食材使用についてどう考えているのか。数値目標などはあるのか伺う。</p> <p>(1)市道の草刈については、高齢のため参加できず、お金や他の人に頼むケースや、自治会の構成員が少ないのに草刈するところが広大にあるなど様々な困難を抱えているところがある。何らかの支援が必要となっている状況だが、市としてどう考えているのか。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			5. 島根原発 1 号機 廃止措置計画につ いて	(2) 昨年の市政懇談会で、市道管理が困難という質問に対して、建設部より「各総合センターに 2 名ずつ作業員を配置している。」と回答をされている。この作業員の方々は具体的にはどういう場合に出動してもらえるのか。市として体制が組めるのであれば、全市に周知すべきではないのか。 (1) 一つの原発をなくすということは、運転を止めただけですむことではない。危険な「核のゴミ」を処理するなど技術的に未確立の問題を解決できていないなど膨大な問題がある。この問題を解決するには、原発からの撤退を決断すること、安全最優先の権限と責任を持った原子力の審査・規制の体制を日本の英知を結集して確立することが必要である。原発の廃炉解体計画と同時に使用済み核燃料を再処理し、危険なプルトニウムを燃やすプルサーマル運転が島根原発再稼動とセットになった計画などありえないことである。原発の廃炉は実施しなければならない課題だが、市民への安心安全が担保された廃炉がなされない計画である。市として国・県・中電に声を上げるべきである。市長の見解を伺う。	
10	15	細 田 実 (一問一答)	1. 平和行政につ いて 2. 教育について 3. 適正な職員配置 と非正規雇用につ	(1) 安倍首相は 5 月 3 日、ビデオメッセージで「2020 年を新しい憲法が施行される年にしたい」と明言し、憲法 9 条に自衛隊を明文で書き込むなどと表明した。これに対する市長の見解を伺う。 (1) 小学校では 2018 年度から、中学校では 2019 年度から道徳が教科となる。教科としての道徳の内容とその成績評価はどのように行われるか伺う。 (1) 法改正により臨時、非常勤職員の適正な任用の確保が目指されている。市の現状と法改正の趣旨にどう対応するか伺う。	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			いて 4. 雇用対策について	(2)本市でも臨時、非常勤雇用が職員の3分の1に達する事態となっている。働き方改革、同一労働同一賃金が叫ばれているなか、改善すべきではないかと考えている。市としてどう対処するか。 (1)SWS 西日本株式会社島根工場閉鎖に伴う雇用対策をどのように考えているのか。	
11	4	中 村 辰 真 (一問一答)	1. 一般質問に関する検証	(1)3010 運動について 昨年 12 月定例会において食品ロス削減「3010 運動」の提案を行った。今日までには、忘新年会や歓送迎会での会食、会席なども行われ、食品ロス軽減を意識して参加されたことに期待をしている。 ①島根県では、職員に対して 3010 運動の積極的啓発がなされている。本市における啓発状況を伺う。 ②会食・会席に食品ロス削減の意識を持って参加されたことを期待している。3010 運動について実際にチャレンジされたかどうか、またチャレンジした感想を伺う。 (2)障がい者差別解消法施行後の職員対応マニュアルについて ①昨年 9 月定例会において、障がい者差別解消法に基づく職員の対応要領の策定は、平成 28 年度末までには策定するとの答弁であった。その後、策定されたと聞いたが研修会等の実施状況を伺う。 ②本庁舎に介助犬あるいは盲導犬の入場を可とした表示が無いように思う。入場の可否について伺う。 (3)障がい者雇用について（精神障がい者への対応） ①来年度、障がい者雇用率が引き上げられる。地方自治体は現行 2.3%から 2.5%となる。精神障がい者も対象となり義務化されるが、今後の障がい者雇用について見解を伺う。	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			<p>2. 就学援助（要保護児童生徒援助費補助金）について</p> <p>3. 医療機関への救急搬送ドクターカーについて</p> <p>4. 児童クラブの安全確保等について</p>	<p>(1) 就学援助は、学校教育法第 19 条の規定により、適切に実施されなければならないこととされている。これまでの補助対象は小学校入学前を含まない「児童又は生徒の保護者」とし、入学後の支給となっていた。昨年度末に要綱の改正が行われ、補助の対象に「就学予定者の保護者」が追加され、「小学校への入学年度開始前」に支給ができることになった。</p> <p>① 支給が入学前 3 か月から可能とされている。本市における予定予算額と支給時期について伺う。</p> <p>② 準要保護児童生徒に対する対応の考えはあるか伺う。</p> <p>(1) ドクターヘリの導入により緊急性の高い救急搬送が可能となった。荒天や夜間などにはドクターヘリの運用は期待できない。このデメリットをカバーできるのがドクターカーである。市立病院が新しくなる時期にドクターカーを導入してはどうかと考えるが、見解を伺う。</p> <p>(1) 児童クラブ（直営）においては、放課後や長期休暇に保護者が安心して仕事ができるように利用する児童の安全確保が重要となる。</p> <p>① 通常時の利用にあたり、学校から児童クラブまでの移動に対する安全確保の状況について伺う。</p> <p>② 児童クラブへ向かう児童が他の児童とはぐれ、児童クラブへ行かず無人の家に帰宅するという事例が発生している。学校と児童クラブ、送り出す側と受け入れる側との人数チェック体制を伺う。</p> <p>③ 再度の安全確保の徹底を強く願うが見解を伺う。</p> <p>④ 児童クラブ未開設校区において、長期休暇時の子ども達の居場所を求める声がある。少人数であり、開設に当たっては様々な条件が付</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			5. 小中学校の学校 環境衛生と校内環 境について	<p>されている。地元地域の理解と協力を得ながら未開設地域での居場所の確保はできないか見解を伺う。</p> <p>⑤大東図書館が改修の為1年以上の休館に入った。長期休暇中に図書館を利用していた子ども達の居場所や、自主学習の場が失われた。代わりとなる場所の設定の考えはないか見解を伺う。</p> <p>昨今の異常ともいえる気象状況下、学校での学習意欲を保ち続けられるように環境の整備が重要と考える。</p> <p>(1) エアコン設置について</p> <p>①市内各小中学校の普通教室には、エアコンの設置が完了し喜ばれているが特別教室に設置されていない学校があり、特に大きな音を出す事のある音楽室に設置されていない学校もある。特別教室に対する設置状況を伺う。</p> <p>②エアコンの稼働に際しては各学校で様々なルールを決めている。電気料金を考えるとかなりの高温になるまで稼働させない学校がほとんどである。電気代がかさむ分、今まで以上に各学校に対する予算確保はできないか見解を伺う。</p> <p>(2) 製氷機と冷水器について</p> <p>①市の産業振興に多大な貢献をいただいている市内業者の好意により小中学校全校に製氷機が設置され、有効に使用されている。一方、冷水器に関しては、設置校は一部に過ぎない。衛生面の問題は幾分あると思うが、暑い時期には有効だと考える。設置に関する見解を伺う。</p> <p>(3) トイレについて</p> <p>①トイレの洋式化を求める声は多く聞こえている。各学校に洋式ト</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				<p>イレは設置されているが数には差がある。しかし、多目的トイレに関しては設置されていない学校がある。多目的トイレの整備について見解を伺う。</p> <p>②築年数の古い校舎では、トイレの故障がかなりの頻度で発生している。現状の予算体制では業者に依頼することもままならない状況である。学校に対する予算の増額が必要と考えるが見解を伺う。</p> <p>(4)学校図書館について</p> <p>①現在、全国で歴史的な発見が数多くあり歴史そのものが変わりつつある。学校図書館でのしらべ学習にも影響があると考え。今後の蔵書についてどのように整備するのか見解を伺う。</p>	
12	14	安井 誉 (一 括)	<p>1.農業政策について</p> <p>2.森林、林業政策について</p>	<p>(1)今後農業への政策展開をどう進めて行こうと考えているのかを伺う。</p> <p>(2)国の農業政策は中山間地（特に辺地）では程遠いものである。雲南市の中での小規模農業に対しての目線を伺いたい。</p> <p>(3)耕作放棄地が増大の一途である。思い切った施策転換の考えはないか伺う。(水田から畑作への転換、特殊作物への転換、地産地消の推進等)</p> <p>(1)山林に対しての施策を国も前向きに進めつつあるが、市として今後、森林、林業振興施策の展開をどの様に進めて行くのか伺う。</p> <p>(2)育林に対しては、現況下火であり今後が心配である。植栽後せめて数年間、管理に対しての助成措置が必要と思うが、支援が考えられないか伺う。</p> <p>(3)若者が山に目を向けつつあり、国としても山に対しての認識を深めつつある。本市としても認識を高める策、山林参加者の技術育成を</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			3.子育て支援対策 について	<p>進めるべきと思うがどう対処してくのか伺う。</p> <p>(4)林道、作業道の整備・舗装等を進める必要があると考えるが、どう考えているか伺う。</p> <p>(1)現況、種々な施策により子ども子育て支援施策が進められているが、支援施策の見直す点等があるのか、また、将来進めていかなければならない点があるか伺う。</p> <p>(2)地元根付いた子育て施策を目指さなければならない。ベッドタウン的ではなく、親と子が少しでも関わりふれあい出来るような就労の場を作ることが必要である。定住基盤の確保や職場の確保に努力が必要と思うが、どの様な考えで進めて行くのか伺う。</p>	
13	10	周藤 正志 (一問一答)	<p>1. 環境・エネルギー政策について</p> <p>2. 地域を支える施策について</p>	<p>(1)今年度、次期環境基本計画を策定することになっている。環境は人間の生き方や社会のあり方と深く関わる問題だ。どのような視点と価値観でもって策定するのか。</p> <p>(2)これまでの環境政策の実効性における成果と課題は何か。</p> <p>(3)3.11以降、エネルギーの分散・地産地消の取り組みが広がっている。自治体としてどのようなエネルギー政策を進めるのか。</p> <p>(4)市の目指すべき環境像はどのようなものか。</p> <p>(1)市内の自治会に対して、自治会運営交付金(3,030万円)が交付されている。今年度、自治会の実態調査をして見直しを検討することだが、何をどう見直すのか。</p> <p>(2)地域の実情を知らないとか、地域の思いを受けとめることができない職員が残念ながらいる。</p> <p>地域のくらしとそこでの住民自治が、自治の原点・現場であるから、交流センターへ職員を派遣(配置)することも検討したらどう</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			<p>3. 子どもと若者を支える施策について</p> <p>4. 3つの都市宣言に基づくまちづくりについて</p>	<p>か。</p> <p>(1) 昨年9月の一般質問で、返済のできない奨学金が社会問題となっていることから、ふるさと納税や寄付金を財源に基金をつくり、市に帰ってくれる若い人たちのための奨学金を創設したらどうかと提案した所、子どもや若者を支援する基金制度ができないか検討するとの答弁だった。奨学金返済支援制度の創設が山陰でも加速しているとの報道もある中、検討状況はどうか。</p> <p>(2) 県外の大学等へ通う地元出身学生に対し、Uターン就職を促進するため、どのような取り組みと支援がなされているか。</p> <p>(3) 障がいのある子どもの保育所（こども園）入所について、受け入れのための適切な措置がとられているか。</p> <p>(1) 改築が予定されている永井隆記念館は「平和を」の都市宣言の拠点施設でなければならない。示された整備基本構想では、持たせる機能や具体的な平和教育・活動からの視点が足りないのではないか。</p> <p>(2) 加茂B&G海洋センターの改修は健康づくり拠点施設として位置づけられている。健康都市宣言及び市長の掲げる「健康長寿・生涯現役」のまちづくり拠点でなければならないが、ハード・ソフト両面において拠点たりえているか。</p> <p>(3) 男女共同参画都市宣言後、どのような取り組みがされ、成果が上がっているのか。</p>	